

2024年9月3日

パルシステム生産者・消費者協議会

次世代リーダー研修共同実行委員長 岡田 祐樹・飯泉 一茂

2024年度第2回次世代リーダー研修報告

- (1) 8月28日・29日(水・木)、北海道河東郡音更町の大牧農場を視察先として、第8期となる10産地10名、パルシステム関係者17名の27名の次世代リーダー研修生、実行委員会13名、事務局等3名の総勢43名の参加により、2024年度第2回次世代リーダー研修が開催されました。
- (2) 1日目は、石毛達也実行委員(JAちばみどり海上産直部)の進行により進められ、五十川賢治氏(大牧農場)および白木由美氏(いただきますカンパニー)のアテンドにより、バスの車内にてオリエンテーションが行われました。白木氏からは日本初の畑ガイド専門会社である株式会社いただきますカンパニーの概要と十勝地域の農業者との関わりについて、パルシステム産地へ行くツアーでの役割などが説明された他、実際にバスツアーで行われているガイド体験として、畑作4品(小麦・大豆・小豆・ビート)や車窓から見える風景から地域や農業についてお話をいただきました。その後の参加者との意見交換では、ガイド内容のターゲット層や、暑さの中でのツアー実施の工夫、農業者との関係性などについて意見交換がされました。
- (3) 五十川氏からは、大牧農場と地域の歴史や、機械化(じゃがいもの集中選果)について、大豆生産について、飼料用の子実コーン生産について、えりも漁協のガニアシなどを利用したたい肥生産についてお話を伺い、参加者からは子実コーンの生産行程、大型農機の設備投資、圃場管理などについて意見交換がされました。
- (4) 2日目は、前日に引き続き大牧農場のじゃがいも・小豆の生産について圃場を巡り、株式会社イソカワファームの農機庫を視察しました。その後、五十川勝美氏、賢治氏、晴人氏の3世代での事業承継についてお話を伺い、開拓から深層暗渠などによる圃場整備、小麦の共同乾燥施設の仕組みづくり、経営環境整備、機械化や規模拡大、労働環境の整備など幅広いお話をいただいたほか、簿記の習得から無借金経営など3世代に共通しての数値に対する意識や、事業承継と共に引き継がれている人柄のあたたかさについても触れる機会となりました。その後の参加者との意見交換では、パルシステムにおける再生産可能な農産物価格の在り方、これからの生産者の集合体による農業法人経営について、創成期の苦労を体験していない次世代が描くこれからの産直について意見交換がされました。
- (5) その他、五十川勝美氏からは物価高騰下での日本の農産物価格の低さについて、「適正な生産原価の算出のみならず、消費者に届くまでの価格の過程について目を向けるべき、農業者が市場原理を押し付けられる現状はおかしい」とお話しいただきました。
- (6) 最後に、岡田裕樹共同実行委員長より、「今回の大牧農場視察では、人材不足が予想される中で誰でも作業ができる農業づくりへの投資がされていました。次世代が経営を継承する魅力を感じられたのではないかと思いますので、今回のまとめを次回の研修で共有しながらまとめていきたいと思っています。」とお話し頂き全ての行程が終了となりました。
- (7) 第3回次世代リーダー研修は10月17日・18日(木・金)パルシステム連合会東新宿本部にて行う予定です。

以上



いただきますカンパニー白木氏によるガイド



大牧農場でのじゃがいも集中選果視察の様子



飼料用の子実コーン圃場視察の様子



3世代での事業継承について説明する五十川氏

